



2回目のプロポーズ

提督：本当に私なんかでいいのでしょうか：私なんて欠陥戦艦とか不幸艦とか言われていましたし：

山城以外は考えられないさ、この鎮守府で一番大変な時から共に戦ってきてくれた：そしてこれからも俺の隣で戦ってほしい



私：正直驚きました。今まで姉さまのことしか考えてなかったのに：



でも：あれから提督のことばかり考えるようになって：



私の本当の気持ちに気が付きました。っわ、わたしも：って：っていとくのこと：



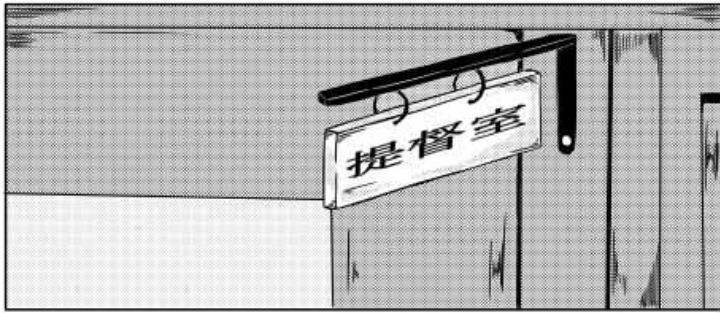
よっぴゃあ〜



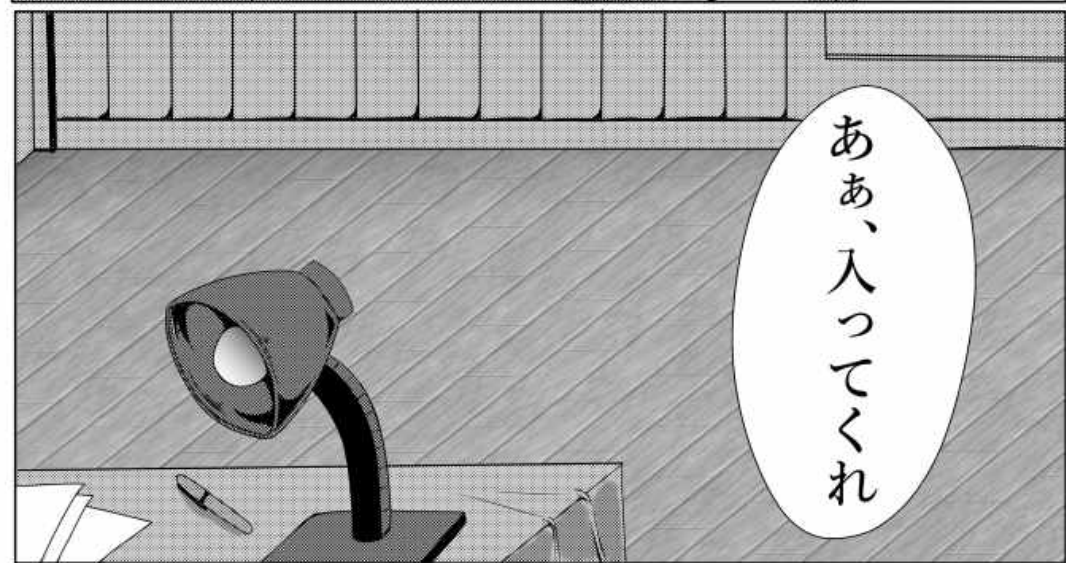
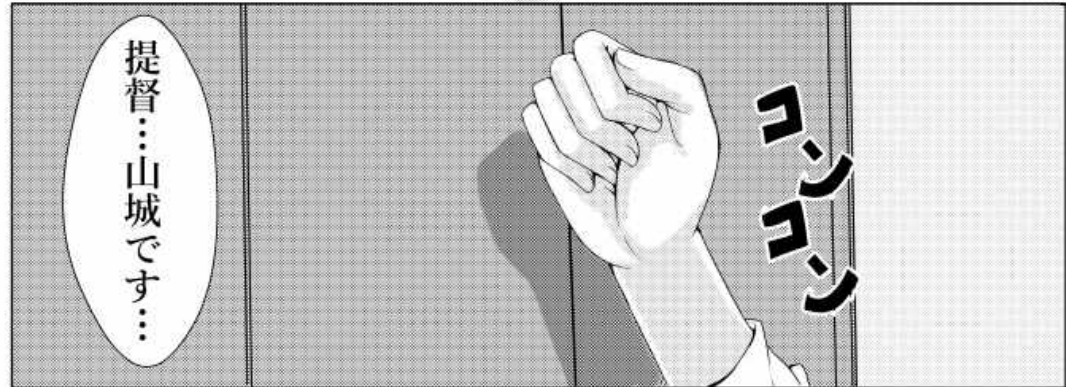
ちゃんと幸せにしてくださいね♡



好きに…なっちゃいました
エへ〜!!!

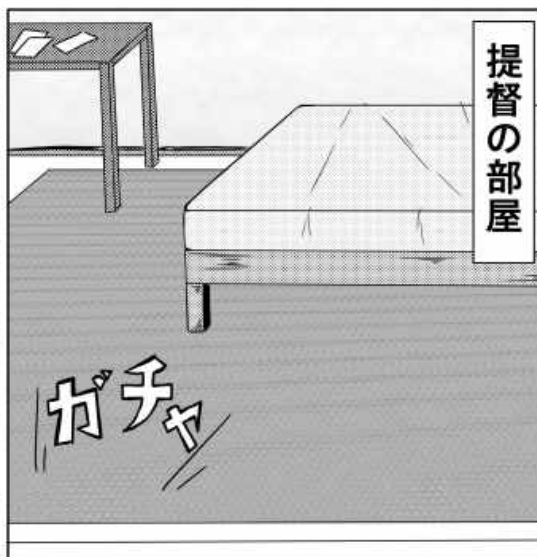


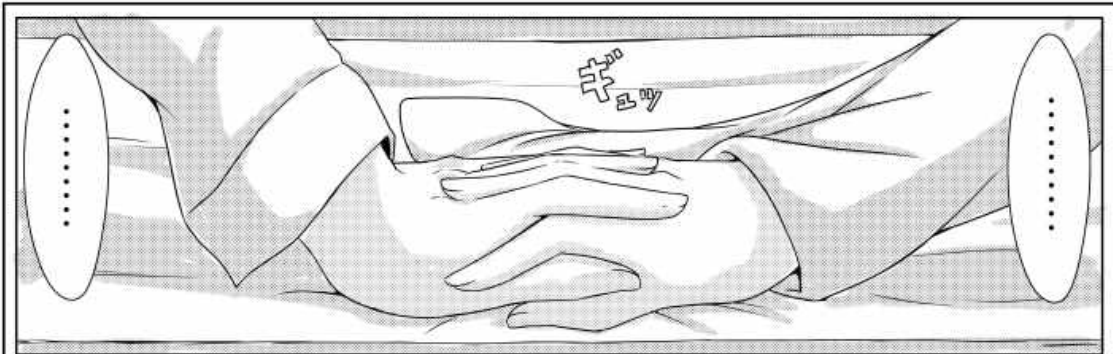
同日夜





提督の部屋







変じゃないですか...?

すごく
きれいだよ
山城



今更だけど...
すごく恥ずかしいわね...

ねえ様以外の人の前で裸になるなんて...
でも...提督なら...



少しは自分に自信を
持ったらどうだ...?

あっ...♡
でも...



流石は戦艦級だな
クラス

私なんて...そんな...



誰からも...あ...♡
認めてもらえなかった
私が...そんな...

俺が認めるさ...俺だけは
何があっても山城の見方
だから...























俺もだよ

気持ちよかった…
ですよ…



ほら
風邪ひくぞ



私も…
ですよ…

愛してるからな…

山城のこと…

そりゃ

やさしいのね…



こんなに幸せで…いいんでしょうか…？

提督…私、今すごく
幸せです♡

ザッ



これからはもっとたくさん
幸せになれるさ

いいに決まってるだろ
当たり前じゃないか

んっ



山城…
君には扶桑もいる
そして俺も…
ツライことがあっても
3人でならどんな「と」でも
乗り越えられるさ



とっても心強いです
頼りにしてますよ
提督……♡





わたし、ここに配属されてよかったです…

姉さまがいて、あなたがいるこの鎮守府に…

Pin